郵送による申込方法

「申込書」（全６頁）に必要事項を記入の上，下記の宛先へご送付ください。申込み内容を精査し，**DNA鑑定などの客観的証拠によりえん罪の立証が可能であるか**という点について検討した上で，支援が可能かどうかをお知らせします。

現在、判決確定前の事件の支援のお申込みの受付を停止しております。

〒602-8407

京都市上京区伊佐町233

イノセンス・プロジェクト・ジャパン（えん罪救済センター）

※ ご不明な点がありましたら，上記宛先もしくは電話番号：090-2101-0931 までお問合せください。

※ 上記送付先住所は、郵便物を受領するのみの住所となっていますので、直接面会してご相談をお受けすることはできません。

※ 支援に関する検討とその回答には数か月かかることもありますので，予めご了承ください。

【お申込みに際してご了承いただきたいこと】※ **本紙は申込書に同封して返送してください**

１） イノセンス・プロジェクト・ジャパンにてご支援を検討する事件は

① 犯人でないのに犯人とされたこと（犯罪でないのに犯罪とされたこと）

② その事件で起訴されたこと

の両方を満たす事件です。

２）当団体では１）の要件に当てはまる事件について

DNA 型鑑定などの客観的証拠によってえん罪の立証が可能であるか

を検討した上で，ご支援が可能かどうかを検討します。

３） ご支援可能かどうかをお知らせするまでには長期間を要する可能性があります。予めご了承ください。

４） 申込書に記載した住所等に変更があった場合は当団体までお知らせください。

５） 申込者がえん罪を訴えている当事者ではない場合：
必ず，当事者 か 弁護人 の了承を得た上で，申込みをしてください。

上記内容についてご了承いただけましたらご署名と署名した年月日をご記入ください。

上記内容について了承しました。

年　　月　　日

氏名：

---------- ここから下は切り取って保管していただいてもかまいません ----------

【イノセンス・プロジェクト・ジャパンでの審査の流れ】

第一審査
支援検討要件に合うかどうか（①犯人性，犯罪性を争う刑事事件であるか，②その事件で起訴されているかどうか）を検討します。

↓

第二審査
第一審査を通過した事件について，審査担当者を決定します。
審査担当者は資料を検討し，記録類の取寄せなど行ないます。そして，**客観的証拠によるえん罪立証が可能であるかどうか検討**し，審査報告書を作成します。

↓

検討会議
審査担当者の報告書に基づいて，支援の可否，継続調査の有無について検討します。
支援決定となった場合，具体的にどのような支援を行なうかを決定します。

↓

支援開始
審査担当者と指名された協力弁護士もしくは運営委員が担当となり，検討会議で決定した支援を行ないます

申込書に記載した住所等に変更があった場合は，当団体までお知らせください

申込日：　　年　　月　　日

申込書

以下の項目について必要事項をご記入いただき，あてはまるものに○をつけてください。
わからない，覚えていないなどの項目については空欄でもかまいません。
なおご記入の際，読みにくい漢字には「ふりがな」を付けてください。

１．申込者について

■氏　名（ふりがな）：　　■性別：

■現在の住所：〒

※　（えん罪を訴えている当事者が）釈放後あるいは移送になったときに連絡の取れる住所があれば下記にご記入ください。
〒

■電　　話：【自宅･会社 電話番号】

【携帯電話番号】

■メールアドレス：

■生年月日：　　年　　月　　日　（現在　　歳）

■えん罪を訴えている人との関係：

あなたがえん罪を訴えている当事者ではない場合，本件申込みについて当事者の了承を得ていますか。　はい　・　いいえ
当事者の了承を得ている場合は，当事者の連絡先等を教えてください。

■氏名（ふりがな）：　　■性別：

■住　　所：　〒

■電話番号：

■メールアドレス：

■生年月日：　　年　　月　　日　（現在　　歳）

■現在の状況：

2．事件について

■事件が起こった日時：　　年　　月　　日　午前 ・ 午後　　時

■事件が起こった場所：

■被害者の名前：

■「共犯者」の名前：

■その他，事件関係者の名前：

■事件の概要：

■事件について新聞・テレビ報道などがなされている場合は，可能な限りそのすべてのコピーを本申込書に同封してください。
（ウェブサイトの場合、URL をご記入頂くか、プリントアウトしたものを同封して下さい）
また，事件について公刊された書籍，パンフレットなどがあれば，それらも同封してください。

3．担当弁護士について

■事件を担当した弁護士（第一審・高等裁判所・最高裁判所それぞれの段階で異なる場合はそれぞれについてご記入ください）

【第一審】氏名（ふりがな）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 国選弁護人 ・ 私選弁護人

住所：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話/Fax 番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

【控訴審】氏名（ふりがな）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 国選弁護人 ・ 私選弁護人

住所：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話/Fax 番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

【上告審】氏名（ふりがな）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 国選弁護人 ・ 私選弁護人

住所：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話/Fax 番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

【再審請求審】氏名（ふりがな）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

住所：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話/Fax 番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※ 今回のご相談に関して，当団体が上記の担当弁護士へ事件や記録類について問い合わせることがあります。

本件申込み事件に関して，上記の担当弁護士に，当団体へ相談していることを通知していますか。

＿＿＿＿＿＿ はい ・ いいえ ＿＿＿＿＿＿

（「はい」を選んだ方は，上記弁護士の中で通知している方の名前に○をつけてください）

※「いいえ」の場合でも申込みは受理します

担当弁護士への問合せについてご同意いただける場合は，下記に署名と署名した日付をご記入ください。

本件申込み事件に関して，上記の担当弁護人へ当団体が問合せをすることに同意します。

＿＿＿＿＿＿＿＿ 年 ＿＿＿＿＿＿＿＿ 月 ＿＿＿＿＿＿＿＿ 日

氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

4．裁判について

■裁判経過：

【第一審】裁判所名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

裁判日：＿＿＿＿＿＿年＿＿＿＿＿＿月＿＿＿＿＿＿日＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（判決日）

結果：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

【控訴審】裁判所名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

裁判日：＿＿＿＿＿＿年＿＿＿＿＿＿月＿＿＿＿＿＿日＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（判決日）

結果：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

【上告審】裁判所名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

裁判日：＿＿＿＿＿＿年＿＿＿＿＿＿月＿＿＿＿＿＿日＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（決定日）

結果：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

裁判前の場合は上告趣意書の提出期限：＿＿＿＿＿＿年＿＿＿＿＿＿月＿＿＿＿＿＿日

【再審請求審】裁判所名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

裁判日：＿＿＿＿＿＿年＿＿＿＿＿＿月＿＿＿＿＿＿日＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（決定・棄却日）

■ 現在の状況と残りの刑期

現在，刑事施設にいる場合はその施設名と残りの刑期についてご記入ください。

施設名：

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

残りの刑期：

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

５．刑事裁判関係書類について

■ 第一審判決，控訴審判決，上告審判決・決定がお手元にある場合は，**本申込書に必ず同封してください。**
その他，刑事裁判関係書類や刑事裁判の証拠の写しについても，手元にあるものすべて同封してください。
なお，刑事裁判関係書類には以下のようなものがあります。

- 起訴状
- 検察官・弁護人の冒頭陳述書
- 検察官の論告要旨
- 弁護人の弁論要旨
- 〔弁護人または検察官の〕控訴趣意書，それに対する〔検察官または弁護人の〕答弁書
- 〔弁護人または検察官の〕上告趣意書
- 〔弁護人の〕再審請求書，それに対する〔検察官の〕答弁書
- 再審請求審の決定
- 〔弁護人または検察官の〕即時抗告申立書または異議申立書，それに対する〔弁護人または検察官の〕答弁書
- 即時抗告審または異議審の決定
- 特別抗告申立書
- 特別抗告審決定

※ **お送りいただいた書類は，原則として返却はいたしませんのでコピーをお送りください**
（なお，収監中などの理由でコピーが難しい場合は原本をお送りください。
当団体にてコピーした上で原本を返却いたしますので，
書類を送られる際，返送をご希望されるかどうか下記ご記載ください。）

書類の返送を

希望します　　・　　希望しません

６．無実であることの理由とイノセンス・プロジェクト・ジャパンに頼みたいことについて

■ 簡潔で結構ですが，重要な事実はすべてお書きください。

質問は以上です。記入もれがないか確認し，**本申込書と必要な書類**をお送りください。